

〈特集〉



掛川の特産品といえば、全国茶品評会で最多の産地賞を受賞するなど、
名実ともに有名な深蒸し茶。

ですが、そのほかにも掛川にはお伝えしたい農産物がたくさんあります。

今月号では、「お茶だけじゃない今話題の掛川産」と題し、
直近の品評会で賞を受賞した2品目と、これから産地化、
ブランド化を目指す作物をご紹介します。

もっともっと掛川自慢が増えますように。

お茶だけじゃない！

今話題の掛川産

お茶のほかに、掛川には自慢の農産物がいっぱい。

12月に開かれた品評会で1位になったイチゴとシイタケの生産者に話を聞きました。

お茶だけじゃない!

高品質な掛川産



〈特集〉



HIGH QUALITY!
シイタケ

連覇は
力がついている
証拠

いっちょやらざあ

CONGRATULATION! 優等〈林野庁長官賞〉



HIGH QUALITY!
イチゴ

おいしい
イチゴを
届けたい

杉山 智さん

CONGRATULATION! 金賞1席〈農林水産大臣賞〉



いっちょやらざあが出荷する生しいたけのラベル。オリジナルキャラクターの「足旨旨治郎(あしまでうまじろう)」は、「シイタケの軸の部分捨て人が多いが、おいしく食べられることを知ってほしい」と命名しました。赤いラベルは大きくて肉厚なもの、金のラベルはうまみ、食感、香りに特化した希少なものと、2種類を販売しています。



東山地区の生産者が経営する合同会社いっちょやらざあは、「第35回静岡県生しいたけ品評会」菌床栽培の部で最高賞となる優等を受賞しました。同社の受賞は、昨年に続き2回目となります。令和4年に設立した同社は、萩原雅弘さん、松浦永治さん、平井誠さん、田辺啓介さんの4名が茶9・3haやシイタケ1万4,000菌床、レモン32aなどを栽培しています。法人化により、統一されたバランスの良い管理が特徴です。同品評会では、1次審査で病害虫の有無を確認し、合格したものが2次審査でかさやひだ、柄の形状、色沢などを基準に競い合います。その

生しいたけ品評会で連覇 産地の存在感を示す

後、上位の出品物を最終審査し、順位が決定します。2年連続となった受賞について、かさの大きさや色、そり具合が優れていたことが結果につながっているといます。「出すからには上を目指したい」と思い、より気合を入れた。収穫のタイミングや水やりなどの管理の部分を意識した。連覇はなかなかできるものではないのでうれし。力がついている証拠だ」と4名は話します。同品評会で1つだけ選ばれる農林水産大臣賞の受賞が当面の目標といきたい」と抱負を語ります。

管内から
9点中5点が入賞!



第35回
静岡県いちご果実品評会
静岡県農業会館
出品数 116点

- 金賞1席〈農林水産大臣賞〉
杉山 智 (栗本) ・ 紅ほっぺ
- 銀賞
掛川中央茶業(株) (上内田) ・ 紅ほっぺ
萩田祐太郎 (和田岡) ・ きらび香
- 銅賞
佐々木成彦 (上内田) ・ 紅ほっぺ
平井祐弥 (東山) ・ 紅ほっぺ

(敬称略)

静岡県農業会館で開かれた「第35回静岡県いちご果実品評会」は、県内JAから紅ほっぺ、きらび香、章姫の116点(JA掛川市からは9点)が出品されました。農林技術研究所や市場の代表らが、外觀(形状、色沢、玉ぞろい、詰め方、傷・痛み)、内容(食味、肉質)、糖度を審査した結果、杉山智さん(栗本)が金賞1席、農林水産大臣賞に選ばれました。杉山さんの受賞は初めてで、管内での金賞1席は、平成21年の萩田知博さん(第20回)以来15年ぶりです。

杉山さんが出品した品種は「紅ほっぺ」で、収穫のタイミングが合っている。管内から9点中5点が入賞した。現在25aのハウスで紅ほっぺを栽培しています。特に味にこだわりを持ち、「食味は毎年向上していて、今年のイチゴは甘くてコクがある」と話します。2月には、皇室への献上も予定していて、「皆さんにおいしいイチゴを届けていきたい」と今後の意気込みを語ります。

管内で15年ぶりの栄冠 杉山さんは初の農林水産大臣賞

い、粒ぞろいが良くイチゴらしい形のものを選んできたことが結果につながったといえます。「受賞を聞いて驚いたが、例年より候補となる粒が多く期待はあった。1番になるのは生まれて初めてのことだ」と喜びを口にします。

お茶との複合経営作物として、有望な品目の選定が課題となっています。
新規で取り組みやすい栗とレモンをご紹介します。

お茶だけじゃない！

期待の掛川産



EXPECTATION!
レモン

今
注目を集める
柑橘



EXPECTATION!
栗

WAGURI (和栗)を
世界に発信する
ために

ちょっと豆知識

特徴ある品種

流通しているレモンにもいくつかの品種があり、それぞれに特徴があります。管内で生産されている品種を紹介します。

リスボン
ポルトガル原産で、代表的な品種。香り、酸味が強く、日照射量が豊富な土地に向いた作物です。冬の最低気温がマイナス3℃を下回ることもなく、冷気が滞留せず寒風が当たりにくい。

ユーレカ
リスボンとともにレモンの主要品種。香りの良さ強い酸味が特徴。耐寒性がやや低いものの、トゲが少ない。

マイヤー
オレンジとの自然交雑種。小ぶりで丸みがある。完熟するとオレンジ色に近づき、甘みを感じられる。

璃の香
農研機構が育成した品種で、リスボンと日向夏の交雑種。果実が大きく、果汁が多くまろやかな酸味。

茶の複合作物として期待されるレモンは、昨年度初めての市場出荷を行いました。2年目となる今年度は、1月下旬までに約500kgを出荷。協議会の設立から4年目で、ようやく産地としてのスタートを切りました。

レモンは、年間の平均気温が16℃以上で温度差が少なく、日照量が豊富な土地に向いた作物です。冬の最低気温がマイナス3℃を下回ることもなく、冷気が滞留せず寒風が当たりにくい。

出荷2年目を迎える新品目産地化に向けて

レモン作業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
せん定		摘果				収穫				せん定	
	施肥		施肥			施肥				施肥	
病害虫防除			病害虫防除			病害虫防除		病害虫防除		病害虫防除	
						作業ピーク					

手厚くサポート！



令和6年度開催の講習会

- 7月 新規植え付け
- 8月 夏期せん定
- 11月 新規植え付け
- 1月 成木せん定
若木せん定
- 2月 新規栽培者 ※予定

栗栽培のメリット

木が強く、大抵の場所で栽培できる
土壌はpH5~5.5程度と転換しやすい
年間の作業時間が少ない(約70~90時間)
収穫までの期間が短く、収入を得やすい
防除などの費用がほかの作物に比べて安い

令和4年に本格始動した「遠州・和栗プロジェクト」がきっかけとなり、管内で大きな注目を集めるのが栗。同プロジェクトは、遠州地域を中心とした企業や団体が、栗の生産振興などを通じて「WAGURI (和栗)」をブランド化し、その魅力を国内外に発信するために活動しています。

現在、生産者や行政、民間企業、教育機関が連携し、技術の共有や作業の効率化、品質向上など多角的な取り組みを進めています。その中でJAは、主に生産

着々と進行するプロジェクト生産振興にも注力

栗作業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					収穫			剪定			
春肥	夏肥			秋肥						春肥	
病害虫防除											
			作業ピーク					作業ピーク			